時事新報ハ一年三百六十五日一日ヲ休刊セズ其代價送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓
一箇年前金六圓
○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ發送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

	五號活字ニテ一行廿四字詰	一行ニ付一日限	一行ニ付二日以上六日迄	一行ニ付七日以上十五日迄	一行ニ付十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢	六錢	五錢
自十一行至卅行	九錢	七錢	六錢	五錢	四錢
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢	五錢

時事新報

歐洲の不景氣い文明の利器の反動なりと

云ふ（前號の續き）

次に製鐵事業に至りても千八百七十三年以來は理學應用の進日に開けたるより諸〳〵無用の手數を省て今日と十年以前に較べ凡そ人力の三割三歩を減ぜ得たりと云ふ試に製鐵業の一科に就て之を言ふに千八百七十年には一人の職工にて一百七十噸（一箇年間には）の鐵を製したりしに千八百八十五年には更に進んで二百六十噸を獲るに至りさるは外ならず新式の製鐵器械全く其働きを爲すに因る者にして差引九十噸の增加即ち八十五年の製鐵は七十年の時に較べて恰も五割强の進歩を爲したるに相違なきなり又鋼鐵製造の事業を視るに七十年頃の火爐れ仕組い今日既に陳腐に屬し現時の製鋼器械は悉く新式に變ぜたるより節儉經濟に成行はれ英國中にて是れまで製鋼事業に卸したる資本金中四百五十萬磅は今日既に不用の財と爲り之と同時に全國中製鋼人夫の數を減じたると三萬九千人の多きに及びたりと云へり其他諸般の事業一として新式器械の發明あるが爲めに人力を省くの結果を來さざるなく其中にも別けて著しきは木棉紡績の業なる可し即ち去る千八百七十四年には錘の運動一分時間に四千回轉の速力なりしに後ち十年を經て去る八十五年には同じ一分時に一萬回轉を爲すに至れり今、木棉紡績に要する所の職工を前後同一の數と看做して計算するに十年以前一週間に五十萬ヤードを織出したる者ならば今日は二倍半の增加即ち一百廿五萬ヤードは棉布製造い容易なれども一方の需要其割合に進まざるは明白にして市場の勢ひ若しも從前通りの供給を以て充分なりとするに於ては一萬人の職工中六千人は暫く其職を失いざる可ず或い六千人の者が悉く無職たらずとそるも経の速力四千回轉の其音しと一萬回轉の今日とと比較して半數なり三分一なり著しく職工は數を省くに至りたるは實際に疑なからん殊に近來は諸般の製造業に分業の法多々倍々行はれて細微の事に至る迄各之を一局一門の業と爲したるが故に熟練の點に於ては彌よ〳〵至妙に入りたるに相違なけれ共遠く考へれば職工は次第に片輪物と爲り已れの專門とする一種細微に關の外にい活用の材を失して所ゆる普通の利かざる人物さるい勢ひに於て免れざる所なるに他の方面には器械の發明時々刻々新にして[illegible]限なきなれば其都度無川の人力を省くと[illegible]たる其本人の分業上一種の特藝外に他に[illegible]もさるの片輪物なると以て餘に新職業に有就き[illegible]究竟に迫らんは餘に掛けて見るが如し[illegible]の一事に於ける餘に六十四[illegible]の[illegible]わりて言へ一足の靴と雖も各種職工六十四人の手を經過して始めて成るの有樣なれば銘々受持の部分に於て其技藝熟練に勝く可き者あるは論を俟たざる所ならんなれども若しも新式器械の發明に因つて六十四種類の職工中五六種乃至七八種の人工を省くの場合ともならば省かれさる職工は即日より如何にして生活す可きや分業の法の爲めに既に片輪物に變ぜたる職工を又々更に新發明の器械に因て工場外に放逐するは殘酷なるに似たれども文明進歩の大勢に於ては復た如何とも爲す可らず千八百八十五年中北米合衆國内に於て器械力を增加したるが爲めに新に無用の人力を省きたる其數一百萬に及びたる由なれども幸ひ米國の職工は一般智識に富み器械力進歩の割合に其生活を失ひたるの話しを聞かざるのみならず米國は國運日に月に繁昌して止まざるの勢ひい英國其他歐洲の國々と同日にして論ず可らず其原因に至りては實業教育の盛否大に之れと關係あるとならんと雖も夫は兎に角に今日歐洲の製造事業は俄然獨り衰んにして需要之に伴はざるより十數年引續ての不景氣を致したるに相違なきあり抑も經濟の法に於て供給の路盛んなれば貨物の價下落して隨て需要の量と增加すと云ふの說ありとも此說は唯、事物一般の傾向を指すまでの話にして實地世界の運行い決して然らず否ま供給の路は如何に盛なりとするにもせよ人事の習慣は容易に動く者にも非ざれば物價の下落直ちに購買を促すに足らざるは明白の事例なり例へば今日まで一週間に一度シャツの脫ぎ替へを爲したる職工が如何に棉布の價下落したりとて迚其習慣と變じて毎日一度の着替へと爲すに至らんとは覺束なしと云はざる可らず要するに去る七十三年以來新式器械の發明は無數不用の人力を省き得たると與ふ共に供給をして唯獨り過度ならしめ以て今の不景氣を釀したるい事實に於て疑なき所なり云々

以上ブレーフェール氏の意見なりとしてロンドン、タイムスに見えたる所なるが其事實實際に違ふとなくば我輩前日來の紙上に記したる文明の利器の作用如何んとも併せて見るに足るものなる可し　（完）

官報

○内務省訓令第五號　北海道廳府縣　奈良沖繩ノ二縣ヲ除ク

明治二十一年度第二部歳出神社費中招魂社費招魂社營繕費國幣社例祭幣帛料據算左ノ通相定ム

明治廿一年三月廿一日　内務大臣伯爵山縣有朋

招魂社費

金百六圓七十五錢　北海道廳○金三百九十五圓五十錢　長崎縣○金八十六圓二十五錢　新潟縣○金十九圓七十五錢　群馬縣○金百五圓二十五錢　栃木縣○金十九圓二十五錢　愛知縣○金三十圓　岐阜縣○金九十八圓五十錢　福島縣○金十二圓五十錢　青森縣○金二百二十二圓　秋田縣○金二十九圓五十錢　鳥取縣○金二十三圓七錢　廣島縣○金四十九圓五十錢　山口縣○金三十六圓二十五錢　福岡縣○金三十一圓七十錢　高知縣○金百三十九圓七十錢　佐賀縣○金五十一圓五十錢　熊本縣○金八十一圓二十五錢　宮崎縣○金三百十二圓二十五錢　鹿兒島縣○金百六十二圓九十錢　北海道廳○金百五十六圓二十錢　東京府○金三百九十三圓七十五錢　京都府○金六圓二十五錢　大坂府○金十八圓七十五錢　兵庫縣○金二百三十一圓二十五錢　奈良縣○金六圓二十五錢　長崎縣○金五百五十六圓二十五錢　埼玉縣○金六十二圓九十錢　千葉縣○金八十七圓五十錢　群馬縣○金六十二圓九十錢　茨城縣○金五百八十一圓二十五錢　栃木縣○金二十五圓　三重縣○金二十五圓　滋賀縣○金二十五圓　愛知縣○金六十二圓五十錢　岐阜縣○金三百七十五圓　長野縣○金六圓二十五錢　福島縣○金六十二圓五十錢　宮城縣○金千百八十七圓五十錢　福島縣○金六十二圓五十錢　岩手縣○金百十八圓七十五錢　青森縣○金三百五十圓　山形縣○金八百七十五圓　秋田縣○金五十六圓二十五錢　福井縣○金三十一圓二十五錢　石川縣○金三十七圓五十錢　富山縣○金二十五圓　鳥取縣○二百圓　岡山縣○金八十七圓五十錢　廣島縣○金六百八十七圓五十錢　山口縣○金二十五圓　高知縣○金百七十五圓　福岡縣○金七十五圓　大分縣○金八十七圓五十錢　佐賀縣○金千六圓二十五錢　熊本縣○金二百三十一圓二十五錢　宮崎縣○金五百八十一圓二十五錢　鹿兒島縣

國幣社例祭幣帛料

金十五圓　北海道廳○金四十圓　京都府○金四十圓　神奈川縣○金二百三十五圓　兵庫縣○金四十圓　長崎縣○金三十五圓　千葉縣○金四十圓　新潟縣○金二十圓　群馬縣○金二十圓　栃木縣○金二十圓　三重縣○金三十圓　愛知縣○金三十五圓　岐阜縣○金四十圓　靜岡縣○金二十圓　山梨縣○金三十五圓　宮城縣○金六十圓　福島縣○金十五圓　岩手縣○金十五圓　秋田縣○金百八十圓　青森縣○金百十圓　石川縣○金三十圓　富山縣○金三十圓　鳥取縣○金九十圓　廣島縣○金九十圓　山口縣○金三十五圓　福岡縣○金三十圓　和歌山縣○金四十圓　德島縣○金六十圓　高知縣○金三十五圓　佐賀縣○金二十圓　大分縣○金二十圓　宮崎縣○金三十五圓　鹿兒島縣

○内務省訓令第六號　警視廳府縣築治監假留監

明治二十一年度第三部歳出豫算別冊ノ通相定ム

但別冊ハ別ニ頒ツ

明治廿一年三月廿一日　内務大臣伯爵山縣有朋

○奈良博覽會　奈良博覽會第十三次會い去る一日より開場の處爾後十日間に係る景況を前年に比較すれい本年に在りて觀覽人の數四千十六人、入場券收入金百十八圓四十八錢五厘、列品賣却數三千三百一箇、此價金三百七十二圓二十四錢三厘にして前年より增えと觀覽人四百七十二人、入場券收入金十四圓九十二錢五厘、列品賣却數二百四十一箇、價金百五十二圓九錢三厘なり右の如く本年に於て八分乃至一割以上の增加ある所以は畿内縣に際し管下一般の人氣自ら發達せるに因るものにして追々當地の繁盛に赴く一端を見るに足れり（奈良縣）

○國府津、湯本間馬車鐵道許可　神奈川縣足柄下郡國府津より小田原驛を經て湯本村に至る馬車鐵道は同縣下福住九藏外四名の發起にて其布設を出願し去月二十一日之を許可せり而して其布設里程は凡そ七哩にして七箇月以内に竣功の見込なるの本月十九日より其工事に着手する筈なり（神奈川縣）

○元山港居留日本人戸口　本一月年鋼淺同港居留本邦人の數は合計三百六十八人（内男二百三十七人女百二十九人）にして日數は九十二戸なり（外務省）

○天然痘　香港天然痘の流行は漸次消滅に歸し去る二月十八日より同二十五日に至る一週間内の該病死亡者は終に十二名（此外他病にて死亡せし者七十三名あり）まてゝ減少せしにより今後は檢疫傳染の憂もなからさるへしと同港領事館より通報ありたり（外務省）

○佛、白及清國芝罘居留日本人の數　昨年十二月調査佛蘭西、白耳義の兩國及清國芝罘居留本邦人の數は佛國に移轉候也

○今般左記ノ所へ移轉候也

○日本橋區伊勢町十番地

○京橋區北鍋町二十番地

○神田區今川小路一丁目五番地

○本郷區湯島二丁目十番地

時事新報社

雜報

○藍玉とインヂゴ　のみならず其品質に賞美珍重するとあれるより紡織業の益々盛なるに從ひ其產出なる農作にて總中下の區別われば其金額は二百なりと云ふべし三四十ヶ村に過りたりと云ひ又愈々盛にして北海道に於て百俵と輸出し大至り尙ほ本年は非常に進歩を東京大坂の市殆んと殘す處ある紡織業の益々盛に茲に日本藍に試るに至るべ洋染工の漸く開用するとを知得は愈々增加する越地方も亦多少響と及したる飯元來藍を精製し藍ム勝り殊に硫料にい極めて りては藍よりも物い物に感動し製さるインヂゴ し其染液と造る之を無用の液汁 死こと是れなア故に容易に藍玉 束なき次第あれ インヂゴの使用 るとなきム至ら 般に需用を增加 違きにならざる ○事件を禁ず 大鑑[illegible]れ ルドナルユ[illegible] 二月二十日後[illegible] 之を避んが爲め 從來の住民に[illegible] て露國政府は[illegible]

治療時間午前八時ヨリ午後五時ニ更ム
齒科　井野春毅
神田區今川小路一丁目五番地

脚氣病治療廣告
拙者義去十四年東京大學ニ於テ醫學全科卒業致シ爾後同學ヘ專職專パラ脚氣病治療研究有之候處今般辭職自宅ニ於テ開業致候

古洋服
神田岩[illegible]
東京[illegible]